

◇ お札になる木 ◇

日本にほんで昔むかしから作つくられている紙かみ（和紙わし）
 は、世界せかいで一番いちばん強い紙つよといわれますが、
 強さひみつの秘密こうそは楮みつまたや三桠きと
 という木つかを使うからです。

原料げんりょうには、韌皮じんぴ（木の皮かわ）
 の表おもてを取り除といた部分のぞ）を使ふ
 いますが、その繊維せんいが長なが
 く丈夫じょうぶなため強い紙つよができるのです。

今いまでもお札にはこの原料げんりょうを使つかいます。

この韌皮じんぴを水みずに漬つけ、柔やわらかくして
 から、叩たたいて繊維せんいをバラバラにします。



紙漉かみすき（かみすき・手に持っているのが簾）



三桠の花

その繊維せんいを水みず
 の中なかに入れて、
 簾す（竹たけなどで編あん
 だ道具どうぐ）を使つかい、
 水みずの中なかに浮うい

ている繊維を、^{うす}薄く^{たい}平らにすくい^あ上げ
紙にします。

この時に、繊維だけだと^{かわ}乾かした^{あと}後
で、またバラバラになってしまうので、
「ネリ」と呼ばれる^よ糊^{のり}を使います。

一番^よ良いのは、トコロ
アオイ（^{おうしょつき}黄蜀葵）という
草^ねの根^とっこから^{ねん}取れる粘
液^{えき}です。普通^{ふつう}の糊^{のり}よりも、
繊維^とを水に溶かしている



トコロアオイの花

^{とき}時には、繊維^とがからんだり^まとまらず、
乾かすと^{じょうぶ}しっかりとくっつき、丈夫で
きれいな紙になります。

百花園探検カード No006

制作 百花園サポート士隊

墨田区東向島 3-18-3 向島百花園内

協力 (社) 向島青色申告会

墨田区東向島 3-15-23

電話 03-3612-1094